令和７年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	13_東京都
市区町村名	13116豊島区
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組これまでの取組状況	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
13116豊島区	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学習習慣の定着や学力の向上のほか、個々の抱える課題（外国籍の生徒や学習についていけない生徒など）に伴奏型の支援が必要である	R6年度から大学との連携により、大学生から直接サポートを受け学力の向上を目指すことができ、また、話し相手となって精神的なケアも行っているため、生徒の個別支援を今後も定着させていきたい。	土曜日開催3会場での地域未来塾の実施に加え、6年度からは平日放課後（水曜日）に包括協定を結んでいる学習院大学の協力により実施することとなった。	身近な場所にあることで、学習へのハードルが下がり、個別にサポートされて、学力が向上するとともに、様々な人との関わりで精神的な安定が期待できる。	参加延べ人数	500	人	600	1131	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた	学習支援員が中心となって大学生ボランティアを集め、個別サポートに取り組むことができた。そのため、参加者の定着率があがり、延べ参加人数が増加し、一定の効果が見られた。	－

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。